

旧江戸川護岸



一 般 質 問

12月定例会では、26人の議員が一般質問を行いました。
質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分です。
ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び質問・答弁を
要約し、ジャンルごとにまとめて掲載しました。

<会派の略称>

無所属・市民＝無所属の会・市民ネット

行 財 政

人口減少社会

宮田 かつみ議員(自由民主党)

少子高齢化の進行に伴い、人口減少や人口構成の変化が危惧されている。生産年齢人口の減少による税収減

税収減や社会保障費増にどう対応
行財政改革や人口確保策を進める

や社会保障費の増大等、今後の行政運営は難しくなると思うが、本市ではどのような対策を考えているのか。
答 人口減少による歳入減に連動して歳出を減少させ

公共施設の使用料

高坂 進議員(日本共産党)

市政戦略会議の答申を受け、市は施設の使用料等の大幅な値上げを考えている。しかし、市民は値上げにつ

条例改正に市民の意見どう反映する
負担割合検証し広報や説明会で周知

いてほとんど知られておらず、意見を聴くこともされていない。今後の条例改正に市民意見をどのように反映させていくのか。
答 現在、e-モニター制

平成26年度予算編成

金子貞作議員(日本共産党)

消費税増税、社会保障制度の改悪で市民の負担は増える。行政の役割は市民の暮らしと福祉の向上であり、

景気刺激策等や人口増加を図る
公約反映し歳入増を図る取り組みは

地域循環型の経済にする。消費税増税、社会保障制度の改悪で市民の負担は増える。行政の役割は市民の暮らしと福祉の向上であり、

公共施設整備

宮本 均議員(公明党)

市は庁舎の建て替えを計画しており、建て替え後の庁舎の維持管理費は老朽化した現庁舎と比べ、節減が

有効な対策の一つと認識
新庁舎の経費節減で新基金の創設を

期待できる。そこで、節減されるお金で新たな基金を創設し、今後実施する施設の建て替えや大規模修繕に備えるべきと考えるが、市の認識はどうか。

防 災

旧江戸川護岸

谷藤利子議員(日本共産党)

旧江戸川護岸は老朽化で亀裂や破損も多く、台風等で崩落して大災害が発生することを市民は心配してい

未改修箇所の早期改修を図るべき
早期改修を県に強く働きかける

る。現在、市川市区間の延長4・3kmのうち3・7kmが未改修となっているが、市は安全対策のため、事業主体である県に対し、早期改修を働きかけるべきと考

現地水防班と台風対応

松永修巳議員(緑風会)

平成25年10月の台風26号による大雨と強風は、本市にも甚大な被害をもたらした。市の現地水防班は市内

地域居住職員を配置すべきでは
短期対応には既存の指揮系統を活用

6か所に配備され対応に当たったが、当該地域に住んでいない職員を配置している点が見受けられる。地域に居住する職員を配置すれば、より迅速な対応が可能と考

職 員

給与制度改革

石崎ひでゆき議員(みんなの党)

本市には、勤続20年、30年の節目に特別昇給する、通称「20特」「30特」と呼ばれる制度がある。公務員の

「20特」「30特」は廃止すべき
平成26年1月より廃止する

給与制度改革の中で、国は特別昇給制度を廃止したが、本市では類似の制度が残っている。公務員の給与は職務と能力によって定めると

職員の採用

石原よしのり議員(民主連合社)

本市では、平成16年度から、年齢・学歴制限を撤廃した職員の定期採用を行っている。制度の導入から10

年齢学歴撤廃職員 働きは期待通りか
優秀人材確保と職場活性化で好成果

年が経つが、社会人経験を持つ採用職員は期待通りの働きをしているか。また、新卒での採用職員と比べ、処遇面での差はあるのか。